

報告日 令和7年11月20日
報告回次 1日目

令和7年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	株式会社KF Table			代表者名	佐藤淳也
担当者部署(属性)	その他	担当者部署名			連絡先電話番号
担当者役職	代表取締役	担当者氏名			連絡先E-mail
住所	999-3511 山形県河北町谷地甲85				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名	河北町	連絡先部署	農林振興課農業振興係		
担当者氏名	泉 政彦	連絡先電話番号	0237-73-2112	連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	具体的課題への支援	事業名	食と農の需給マッチング支援事業					
概要	農産物流通のDXを推進するにあたり、農業現場や消費現場に浸透させるための要点整理とともに、適切なデジタルツールの選定にあたって必要となる視点や留意点について、農家が理解できるようアドバイスをいただきたい。併せて、規格外農産物の活用、高付加価値化の方向性についても助言を得たい。							
支援を求める分野	人材（DXに関する知識習得・研修・育成） AI活用 農林水産業 地域ビジネス							

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無				
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和7年11月15日	事前打合せ(オンライン)	13時00分	14時05分	
				活動時間（分）	65
2-2.	会場名	オンライン	最寄駅	オンライン	
派遣場所	所在地	オンライン	最寄駅からの交通手段	オンライン	

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	小出 範幸	
評価	良い	
上記評価の理由（どのようなところがよかったです等詳細に）	・農家や食品加工業者の実情を良く理解し、難解なデジタルツールでは課題が解決できないことを承知している。 ・山形県で推進しようとしている「ジモノミック」のようなマッチングツールが、今回目指している取り組みにはそぐわないことをきちんと理解していた。 ・どうすれば農家にも食品加工業者にも使いやすいツール選定ができるかを考えて、事前に準備・提案があった。 ・第2回目の派遣に向けて、行動計画をとりまとめていた。	
アドバイザーへの要望事項	・第2回目の派遣において、実地で効果の出る方法を考案・準備してきて欲しい。	

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】		合計人数	2人
属性	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
			1	1

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい)	規格外農産物が廃棄されている現状を鑑み、「もったいない」状況を何とかしたいと考えている。 しかしながら、廃棄される農産物を提供することに農家は手間をかけたがらないしそれぞれ無頓着、 食品加工業者もできるだけ効率的かつ効果的な方法を見つけていくもの、研究余力がない。 DXの専門家の力を借りることで、解決の糸口を見つけたいと思っている。
支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)	農家および食品加工業者の双方にとって、便利なコミュニケーション手段を探すこと。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none"> 農家の困っていること（規格外野菜を廃棄している現状）を細かく確認してくれた。 食品加工業者が困っていること（農家との連絡、特に農家側の事情）を確認してくれた。 山形県で進めている「ジモノミッケ」について、今回の事業にそぐわない理由を明確にしてくれた。 最も簡単な方法として、Googleフォームズを利用したサンプルを提示してくれた。
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none"> 「ジモノミッケ」をひとつの選択肢として考えていたが、選択しない決断ができた。 「ジモノミッケ」はモール型のツールで、n : nのマッチングには適するが、今回のようなn : 1（nが農家）には向かないことがわかった。 「ボタンを押すだけで良い」と考えていたツールについて、Googleフォームズがひとつの選択として利用できることがわかった。
具体的な成果物	<p>最も当てはまるものをリストより選択下さい。 ④人材育成のカリキュラムやツールを策定できた</p> <p>Googleフォームを利用した簡便な「農家→食品加工業者」への連絡手段のデモ。</p>
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	<ul style="list-style-type: none"> 今回はオンライン派遣で2回目の実地派遣での計画を練ることだったので、概ね目的は達成できた。 2回目の実地派遣では、Googleフォームズを利用した「農家→食品加工業者」への連絡の利便性を確認することになる。 QRコードを利用したGoogleフォームへのアクセスや、LINEアンケートによる簡便な連絡方法を検討することになった。
アンケートの内容と分析結果	<p>講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。（EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。） アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。</p> <p>なし</p>
4-3. 今後の計画	<p>最も当てはまるものリストより選択下さい ⑤その他</p> <p>GoogleフォームまたはLINEを利用して、「農家→食品加工業者」への負担の少ない連絡方法を見極める。</p>
4-4. 事業の最終的な目指す姿	今回の一連の派遣では1農家を実証実験先とし、簡便性の検証を第一とする。その後、河北町の農家全体で実現して、「農家→食品加工業者」が簡単・便利にコミュニケーションでき、規格外野菜を容易に有効活用できるようにすることを目指す。

5. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載可 ○掲載可

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good_practices/past_year_all_houkoku/

なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意下さい

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG等）」を数枚程度貼り付けて下さい。